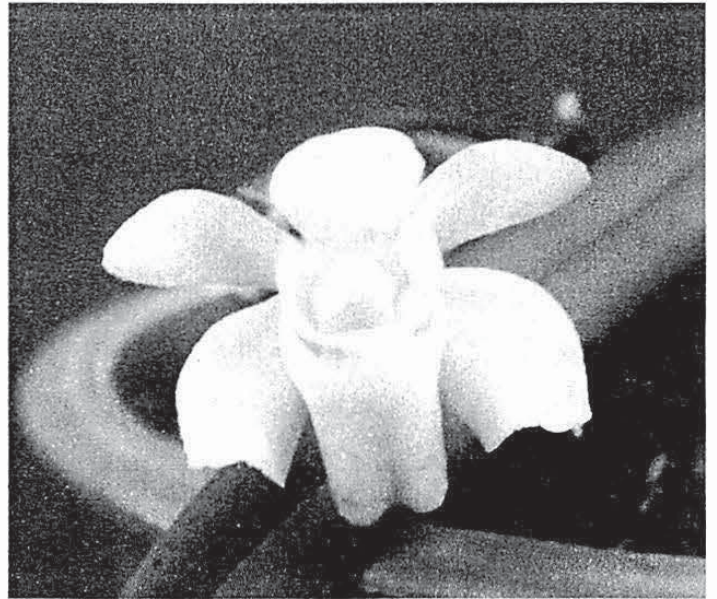


ケイトウフウランと思っていた蘭が実は台湾フウランだった

夏井高人 (カラー 4 ページ)

「ケイトウフウラン (遠藤株)」として実生フラスコ栽培された苗を入手し、大事に育てて開花させた。可愛らしい白色の花だった。(2010年6月に自宅で撮影) しかし、何となく釈然としない。Web上でケイトウフウラン (*Thrixspermum saruwatarii* (Hayata) Schlechter (Syn. *Sarcochilus saruwatarii* Hayata)) の自生地写真を検索してみると、かなり違う花のような気がするのだ。



そこで、本気になって調べてみた。

その結果、この蘭は、ケイトウフウランではなく、台湾フウラン (*Thrixspermum formosanum* (Hayata) Schlechter (Syn. *Sarcochilus formosanus* Hayata; *Thrixspermum sasaoi* Masamune)) だということが判明した。

ケイトウフウラン (溪頭風蘭) は、小白蛾蘭とも呼ばれ、筒状になった唇弁が比較的短い。これに対し、台湾フウラン (台湾風蘭) は、白蛾蘭とも呼ばれ、筒状になった唇弁が長いのが特徴となっている。植物分類学上この両者が混同されることはなく、完全に別種として扱われているようだ。

これはこれで珍しい蘭の苗を入手できたことになる。しかし、本物のケイトウフウランの花はまだ見ていないことにもなる。

ケイトウフウラン (*Thrixspermum saruwatarii*) の花を見ることのできる日はいつになることやら・・・

<参考>

書籍：林 維明『台湾野生蘭 野外賞蘭大図鑑』

Web サイト： *Thrixspermum saruwatarii* (Hayata) Schlechter

http://www.efloras.org/florataxon.aspx?flora_id=2&taxon_id=242414494

Thrixspermum formosanum (Hayata) Schlechter

http://www.efloras.org/florataxon.aspx?flora_id=2&taxon_id=242352220